

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（2月分）

留学先大学：貿易大学
名前：遠藤優海

Xin Chao! 今月末の第二回米朝首脳会談の開催地となったハノイはかなりの盛り上がりムードでした。各首脳が到着した際には主要道路は交通規制が敷かれ、多くのハノイ市民たちがベトナム、アメリカ、北朝鮮の国旗を思い思いに振って、歓迎モードでした。一方で彼らの移動の度に30分以上通行止めになり、足止めを食らった多くのバイクや車の運転手はいら立ちを隠しきれませんでした。いつもバイクで溢れかえっているハノイの道路に全く何もなくなる光景は圧巻でした。市中心部ではトランプと金正恩のイラストや写真をプリントしたTシャツが売られ、売り切れ続出だったようです。そんな私も母に頼まれ、しっかり一枚ゲットしました（笑）



さてそんな今月の報告書ではテト休みを利用した東南アジア3か国への旅行について書きたいと思います。

Tシャツ一枚 500円くらい
米朝首脳会談の記念切手が貼られた封筒と絵葉書も買ってみました。

【テト休みの過ごし方】

旧正月当日と前後数日間には航空券の値段が高騰するので約3か月前に、シンガポールとマレーシア行きを決め、航空券を購入しました。ベトナムではAirAsia、Jetstar、VietJetAirが主流な格安航空会社なのでこれらを利用することで安く旅行できます。また、旅行中の滞在先はAirbnbやBooking.comを利用することが多いです。これらのサービスを利用すると格安で泊まることができ節約になります。今回の1週間の宿泊費は1万円ちょっとくらいに収めることができました。

シンガポール→マラッカ島→クアラルンプールのルートで移動し、国境は高速バスを利用して越えることにしました。飛行機を利用せずに国境を越えるのは初めてで少し緊張しましたが、ゆるーい入国審査と荷物検査があるだけで飛行機に乗って移動するよりも楽でした。ただクアラルンプールに向かう際に、夕方の便だったこともあり渋滞に巻き込まれ、予定乗車時間の倍も時間がかかってしまいました。いくつかのネット記事では高速バスは予約しなくても当日券が買えると書いてありますが、事前にオンライン予約しておくことをおすすめします。実際に私が利用した日は旧正月ということもありますが、何本も出ている便は全て売り切れになっていました。

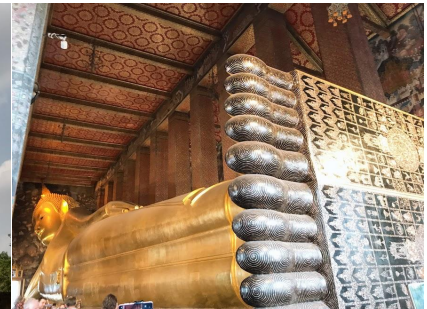
1週間の限られた時間の中では、行きたかった場所全てに行くことはできませんでしたが、とても充実した旅行で楽しかったです。



シンガポール



マレーシアから帰国後、数日ハノイで過ごし、次は4泊5日でタイのバンコクへ行きました。GCS 東南アジアサミット第2回の開催です(笑) タイに行くのは初めてで、想像よりもバンコクはもっと都会で衝撃を受けました。大学の規模も敷地も広く、設備もしっかりしているようで少しうらやましくなりました。現地に留学している友達のおかげでバンコクの色々な場所に行くことができ、本当に楽しかったです。違う土地で留学生活を送る同じ学部の友達と話せたことで少しもやもやしていた部分がすっきりしました。旅行中にトラブルもありましたが、最終的に楽しく旅行を終えることができました。



【3か国を回って感じたこと】

東南アジアの中でも特に大きな経済大国である3か国を回ってみて、私が留学しているベトナム、特にハノイはまだまだ遅れているなど感じる部分がたくさんありました。一番強く感じたことはインフラ設備の差です。ベトナムではいまだにMRTなどの電車が通っていません。他3か国はこのインフラシステムが確立しており、移動が圧倒的にスムーズで便利でした。ベトナムも現在、インフラ事業に力を入れているとはいえ、MRTなどが導入されるのは2020年よりもっと後になると思います。多くの市民はこのようなサービスを利用したことがないため、導入後も主要な交通手段としてうまく機能するまでにさらに時間がかかると思われます。また、街のきれいさも圧倒的に違います。ベトナムではごみはそこら辺の道端に自由に捨てていい仕組みになっています。一応ごみ箱も設置されていますが、基本的にポイ捨て自由の習慣があります。毎日夜中になると係のおばさんたちが周囲を掃除しながらごみを回収しています。毎日ごみが至る所に捨てられる環境であるためハノイの街はかなり汚れています。他の3か国のゴミ処理システムが気になりますね。

また、現地の人の外国人への関心の差も気になりました。マレーシアやシンガポール

は様々な人種、民族が共に暮らしている多様性社会ということもあり、外国人がいても特に気にする様子もなく、英語を使うことにも抵抗がありません。タイも観光客が多いからかハノイほど注目されることはありませんでした。ハノイに住む人々の外国人に対する反応はどちらかというところと日本に似ていると思います。外国人がいれば明らかにあつという表情を浮かべる人も多く、レストランなどでベトナム語以外の言語で話していると注目されることも少なくありません。基本的に現地の人には英語が話せません。これに関しては日本も同じような課題を抱えているとは思いますが、ベトナムの特にハノイは経済成長が著しいとはいえ、様々な面でまだまだ改善していくべき課題が多くあるとこの旅行を通して感じました。

今回はすでに経済発展を大きく遂げている東南アジアの大きな国々を見ることができたので、残りの留学期間中に他の発展途上と言われている国々を見て回りたいと思っています。